

令和6年度(2024年度)市民参加の取組みについて

(1) 無作為抽出方式の導入の検討

市民参加推進員（まちづくりサポーター）制度に無作為抽出方式を導入し、登録の際に、附属機関の公募委員候補者としての登録を依頼する。

効果として、従来の手上げによる公募方法では登録しなかった新しい人材の市民参加を促進するとともに、幅広い世代への市民参加の機会の拡大が期待される。

【制度概要（案）】

項 目	内 容
無作為抽出者数	1, 0 0 0 人
目標登録者数	1 0 0 人
抽出条件	市内在住の18歳以上
抽出頻度	毎年
依頼方法	郵送により市民参加推進員登録の文書を送付
登録方法	電子申請により登録
募集期間	令和6年(2024年)9月上旬に文書発送。約1カ月の期間を設ける。
登録期間	登録した日から起算して1年を経過する日の属する年度の末日まで（更新は妨げない）
登録内容	・住所、氏名、性別、生年月日、電話番号、メールアドレス ・登録を希望する分野や参加可能な時間、曜日など ・附属機関の改選や欠員補充の際に、担当課から直接ご案内をすることに同意してもらう
根拠法令等	・久喜市市民参加条例施行規則・・・一部改正 ・久喜市市民参加推進員の無作為抽出による公募に関する要綱（新設）

【今後の課題等】

- ・まちづくりサポーターの活用を充実させる取組が必要。
庁内で実施するアンケートへの協力、ボランティアの案内、ワークショップやまちづくりサポーター会議の開催など
ボランティアの案内など
- ・まちづくりサポーターへの情報提供は、従来の郵送・ファクシミリを廃止し、電子メールのみに移行する。（手続きの簡略化、郵送料の削減）

(2) 附属機関のオンラインでの会議開催の検討

若い世代（子育て世代含む）が参加しやすい会議の形態として、オンラインでの会議開催方法を検討。方針（案）については、現在作成中であるが、方針が固まり次第、自治基本条例推進委員会において試験運用を行う。

(3) 市民参加しやすい環境作りの検討

令和6年度（2024年度）の自治基本条例推進委員会の会議において、託児を利用できるよう、報償金を予算計上。

(4) 若い世代と市長との座談会の開催

令和6（2024年）1月13日に、昨年度20歳を迎えた若い世代9名と市長との座談会を開催した。令和6年度（2024年度）も複数のテーマについて、市長と意見交換を行う予定。